

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【施策名： 計画・設計・施工の最適化】 【3】 民間技術の積極的な活用 施策12

排水性舗装用ネジレ抵抗性改善高粘度改質アスファルトの採用によるコスト改善

事業名： 事故対策事業（交差点改良工事：排水性舗装）

概要： 事故対策として交差点の排水性舗装化に伴う、車両の擦り切れによる骨材の飛散防止が目的。
 （従来）高粘度排水性舗装+トップコート工法 ⇒ （新）ネジレ抵抗性排水性舗装。

効果：

- ・ 通常のアスファルト同様に取扱ができ、ネジレ力による骨材飛散防止効果が図られる。
- ・ トップコート工法と違い別途工程の必要がなく工程の短縮が図られ、沿道住民に配慮できる。
- ・ 表層全てがネジレ抵抗性アスファルトであるため、トップコート工法に比べ効果の継続が期待できる。

● ネジレ抵抗性改善高粘度アスファルトの活用によりトップコート工法の省略ができたため、
 1,443百万円から 1,250百万円に改善（改善額193百万円 改善率約13%）

